

経済①「現代経済の仕組み」

財政 C

🕒 7分

1. 次の問いに答えなさい。

(1) 国の歳入と歳出の内訳を表した右のグラフ I を見て、次の問いに答えなさい。

- ① 国の歳出のうち、不景気に陥ったときに生産活動を活発にして経済を刺激する目的で増額されることが一般的に最も多いものをグラフ中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

[1]

グラフ I



- ② ①のような動きに代表されるように、政府が歳出や歳入を手段として景気を安定させようとする政策を何というか。

[2]

- ③ ①に関連して、景気について一般的に説明した文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 好景気が続くと生産が増加するため、物価が下落するデフレーションにつながりやすい。
- イ 不景気が続くと税収が減少するため、歳入の不足分を補うため公債の発行額が増えることが多い。
- ウ 好景気のときには、政府は減税や公共投資の増加などの政策をとって景気を引きしめようとする。
- エ 好景気と不景気は不規則な順序でくり返される。

[3]

- ④ グラフ I 中の X に関連して、租税のなかの所得税には、所得が多くなればなるほど、所得に対する税金の割合が高くなるしくみがとられている。このしくみを何というか。

[4]

- ⑤ グラフ I 中の X に関連して、右のグラフ II は、主な国での税収に占める直接税と間接税の比率を表したものであり、Y と Z はそれぞれ直接税と間接税のいずれかを表している。日本において、Y の税金に含まれるものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 消費税 イ 所得税
ウ たばこ税 エ 関税

[5]

グラフ II

